

平成 25 年度 学校教育目標設定報告書

学校番号 40 学校名 千葉県立市川東高等学校 課程名 全日制の課程

領域	重点目標	具体的方策 (具体的な取組, 手立て)	評価項目・指標 (評価方法・評価基準)
学校 経営	1 教育活動の広報 2 地域に開かれた学校づくりの推進	① 学習日より、ホームページ、メール配信システムの活用 ② 保護者の学校行事への積極的参加 ・中学校訪問の充実	① 記載内容と発信状況 ② 行事への参加状況 ・保護者アンケートの結果 ・中学校訪問の実施状況
学習 指導	1 わかりやすい授業の展開 2 学力の向上 3 家庭学習の習慣づけ 4 授業に取り組む姿勢の確立	① 授業アンケートによる評価 ・授業改善 ② 朝自習の充実 ・授業展開の工夫 ③ 「家庭学習計画記録用紙」「スケジュール帳」の活用 ・宿題、課題の成績評価への反映 ④ 授業マナーの指導 ・授業開始時の準備への指導 (各学年・授業担当者と連携)	① 「わかりやすい授業」について肯定的な回答 50%以上 ・授業公開の実施状況 ② 朝自習の参加率 30%以上 ③ 家庭学習時間の増加 ・授業内容の充実 ④ 授業マナーの改善状況
生徒 指導	1 基本的な生活習慣の確立 2 交通マナーの向上 3 問題行動の防止	① 時間を守り、身なりを正す指導を行う ② 登下校、LHR、集会等で指導 ③ 生徒の観察、教育相談等で問題行動の早期発見、早期対応	① 欠席、遅刻の数 ② 近隣からの苦情件数 ・交通事故の件数 ③ 生徒間トラブルの発生件数
キャリア 教育	1 卒業後の就職に備えて「入学しやすい大学」より「入学したい大学」を目指す 2 技術・資格を生かして必ず就職できる専門学校を目指す	① 学力向上 ② 上級学校研究	① 進学課外補習の充実 ・1～2学年 各学期学力テスト活用 ・大学見学実施 ② 進路ガイダンスの実施状況(進路説明会)、個人面談、教員研修会実施状況

平成25年度 学校評価実施報告書

学校番号 40

学校名 千葉県立市川東高等学校

課程名 全日制

領域	自己評価の結果 (達成状況, 結果の分析)	改善方策 (自己評価の結果を踏まえた課題・改善の方向)
学校経営	<p>①学習だより、ホームページ、メール配信システムの活用はおおむね達成できた。一斉送信メールを活用して研修会やバザーの案内を発信したので、情報提供に関する保護者の満足度も良好であったがメール配信は緊急時だけにして欲しいという意見もあった。</p> <p>②体育館での始業式や終業式での生徒の態度は良好であったが、教室で放送を用いた式では、ざわつきが見られた。中学校訪問は副担任を中心に年2回実施した。</p>	<p>①PTAの情報発信の方法として、メール配信だけでなく、PTA専用のホームページの活用を検討する。</p> <p>②体育館の改修が終了したので、以前と同様の式に戻る。整然と行えるよう、全職員で細かく指導する。中学校訪問に関しては、年2回の実施が妥当であるか検討したい。</p>
学習指導	<p>①分かり易い授業について生徒満足度調査では肯定的な意見は33%であり、目標値を下回った。校内研究授業は14回行った。</p> <p>②学力向上について、朝自習の参加率は最大値は定期考査中に30%であり、目標値に達していたが、平常時の参加率が低かった。</p> <p>③家庭学習の習慣づけのためのスケジュール帳指導については担任を中心として継続的な指導を行っているが、記入の習慣化ができない生徒がいる。</p> <p>④授業マナーの改善は学年・教科担当の指導の継続により、全体的には良い状態が継続できている。ただ、少数ではあるがマナーや姿勢が悪い生徒もいる。</p>	<p>①授業評価アンケートに基づいた個々の教員によるより一層の授業改善を呼びかけるとともに、積極的に校内研究授業・研修会を行う。</p> <p>②考査時ばかりでなく平常時も積極的に朝自習を活用するように、「学習だより」を利用して朝自習の意義や効果を理解させて参加率を高める。</p> <p>③スケジュール帳記入の意義を理解させたり、スケジュール帳の記入が習慣化するように、より効果的な指導方法の構築に努める。また、記入し易い様式を検討する。</p> <p>④今の指導を継続して、生徒の授業を受ける姿勢を確立させる。少数のマナーの悪い生徒については、担任・教科担当が協力して改善のための個別指導にあたる。</p>
生徒指導	<p>①学期を追うごとに遅刻者が増加した。服装は概ね守られているが、逸脱者もいた。今年度導入の新規格スカートは一定の効果が見られる。</p> <p>②登下校の交通マナーに関する苦情が、各学期に数件ずつあった。</p> <p>③生活アンケート等により、盗難被害などを含む生徒の状況が判明した。</p>	<p>①家庭との連携を密にし、基本的な生活習慣の確立を図る。新規格スカートは、来年度も継続的に効果を見守りたい。</p> <p>②各学期実施の登下校指導に加え、臨時に登下校指導をした事もありマナーは改善しつつある。</p> <p>③定期的に生活アンケート等を実施する。各学年で各時間割ごとに当番で巡回を実施したが、来年度も各学年と協力して、継続して実施したい。</p>

領域	自己評価の結果 (達成状況, 結果の分析)	改善方策 (自己評価の結果を踏まえた課題・改善の方向)
キャリア教育	<p>①・進学課外実施状況 (平日)</p> <p>1年：4講座153名申込 2年：7講座92名申込 3年：10講座211名申込</p> <p>(夏季休業中)</p> <p>1年：7講座66名受講 2年：8講座67名受講 3年：14講座130名受講</p> <p>・1、2年基礎学力試験(4/10,9/3) 実力試験(1/27) 3年基礎学力試験(4/10) マーク模試(6/10)</p> <p>②・進路説明会</p> <p>1年：進路ガイダンス27分科会(11/14) 2年：進路ガイダンス24分科会(10/31) 3年：大学入試説明会(幕張メッセ) 174名参加(4/25) 専門学校説明会(5/1, 5/2) 進路ガイダンス61分科会(5/24) 推薦入試説明会(6/26,9/3) センター試験説明会(9/9) 推薦決定者説明会(9/25) 日本大、東洋大、駒澤大、専修大入試前ガイダンス(11/26,27,29) 一般入試説明会(11/28)</p> <p>・1年14大学上級学校別見学会実施(10/11)</p> <p>・インターンシップ実施(夏季休業中) つくばね幼稚園 1年4名(8/5～8/9) 2年3名(8/15～8/16) 1日ナース医療体験 1年5名、2年2名、3年6名</p>	<p>①・進学課外</p> <p>今年度より教室にエアコンが設置され、夏季休業中の進学課外は受験教科を中心に各学年に開講を要請した結果、特に1、2年で講座数、受講者が増加した。来年度は、さらに充実を図る。</p> <p>・1、2年の1、2学期と3年1学期の基礎学力試験実施が定着してきた。また、実力試験は1、2年3学期、3年1学期に実施しているが、本校と同様な進学実績をもつ進学校の実施状況を参考に、今後さらに効果的な実力試験の追加実施を検討していく。</p> <p>②・進路説明会</p> <p>保護者へは各学年の進路ガイダンスの他に、生徒向けの進路別各種説明会の実施を周知していく。</p> <p>日本大、東洋大、駒澤大、専修大入試直前ガイダンスは実施2年目となるが、来年度以降も計画していきたい。</p> <p>・1年上級学校見学の改善を図る。</p> <p>・来年度も1、2年生中心に実施を依頼する。</p>

学校評価の公表について (手段・時期等)	1・2学年保護者には3月末に家庭に郵送する。3学年保護者には卒業式で配布する。また、ホームページで公表する。
-------------------------	--

領域	学校関係者評価の結果	学校評価のまとめ
学校 経営	<p>①PTA専用ホームページよりも、従来どおりメール配信システムを有効に活用することが最も良い。</p> <p>②現在行っている中学校訪問の回数は妥当である。学校行事に参加する保護者の数が増えたのはすばらしい。</p>	<p>①PTAへの情報発信の方法として、保護者の関心の高い学校のホームページ及びメール配信システムの効果的な活用を図るとともに、PTA専用のホームページの作成を検討する。</p> <p>②中学校訪問のより効果的な内容と時期について工夫する。保護者の方がより多く学校行事に参加できるよう行事の内容や連絡方法を工夫する。</p>
学習 指導	<p>①生徒満足度調査・保護者満足度調査ともに肯定的な意見が下がったが、今後とも一人一人に対応した指導を行ってほしい。</p> <p>②定期考査前や受験前には有効である。今後とも続けてほしい。</p> <p>③スケジュール帳の効果的な活用を図るとともに、記入方法の工夫をしてほしい。</p> <p>④授業を見たところ、授業マナーは大変良い。教員も工夫した授業を行っている。</p>	<p>①個々の教員によるより一層の授業改善を図るとともに、保護者による授業参観、積極的な校内研究授業・研修会により、肯定的な回答が50%を超えるよう全職員で取り組む。</p> <p>②日常的に積極的に朝自習を行うように、意義や効果を理解させて参加率を高める。</p> <p>③スケジュール帳の意義を理解させ、記入が習慣化するように、より効果的な指導方法を工夫する。記入し易い様式に改善する。</p> <p>④今の指導を継続して、生徒の授業を受ける姿勢を更に向上させる。</p>
生徒 指導	<p>①刺繍を入れるとともに折りにくくした新規格スカートは、よいアイデアである。</p> <p>②登下校指導の時間帯を変えながら行ってほしい。家庭と連携することが重要である。</p> <p>③定期的な生活アンケート等は有効な手段である。巡回指導も継続してほしい。</p>	<p>①全職員で粘り強く服装指導に取り組む。家庭との連携をさらに密にし、基本的な生活習慣の確立を図る。</p> <p>②地域の方々の声を聞くとともに、保護者と連携して効果的な登下校指導を行い、事故を未然に防ぐ。</p> <p>③来年度も定期的に生活アンケート等を実施するとともに、きめ細かな教育相談を行う。継続的に巡回指導を行う。</p>
キャリア 教育	<p>①夏季休業中の進学課外を増やしてほしい。放課後、自習できる部屋がほしい。</p> <p>②学校での進路ガイダンスの他に、学校外の説明会も今まで以上に参加するよう指導してほしい。インターンシップには、多くの生徒に参加させてほしい。職業に触れる機会は貴重な経験となる。</p>	<p>①多くの生徒が進学課外に参加するよう積極的に呼びかける。放課後の自習室を学年ごとに確保し、自発的な学習を促す。</p> <p>②ガイダンスの内容を充実させるとともに、生徒への情報提供を積極的に行う。学年と連携し、実力試験の回数を1回増やし、早い段階から卒業後の進路を意識させる。地域と連携し、インターンシップの受け入れ先の拡大を図る。</p>